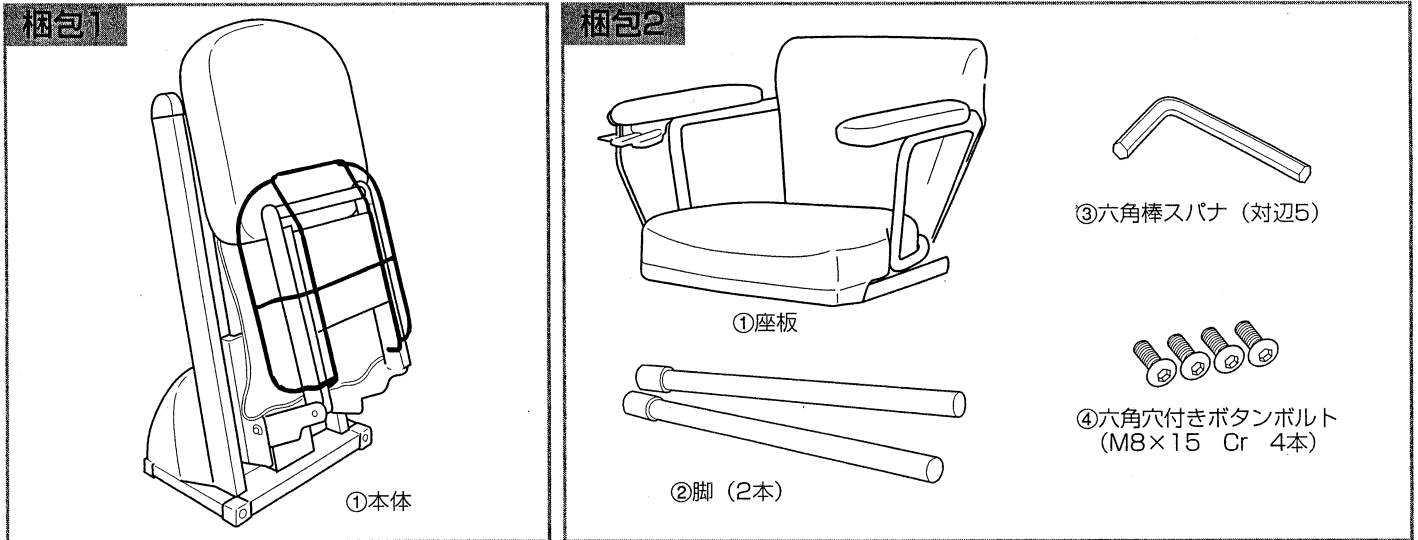


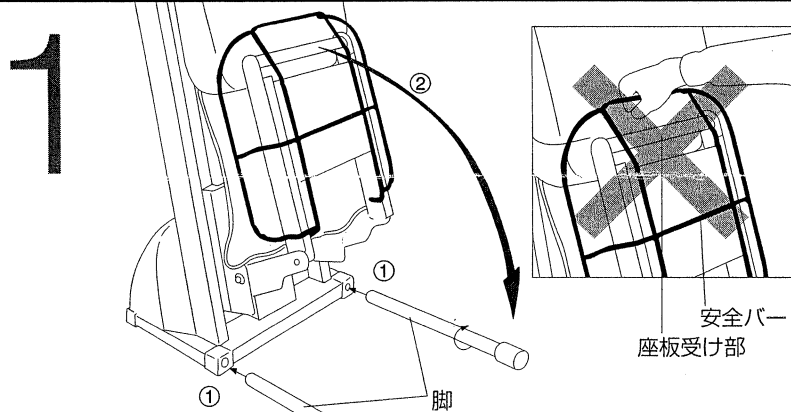
## 梱包内容 (本製品は2梱包です)



※組み立ての前に取扱説明書「安全上のご注意」を必ずお読みください。

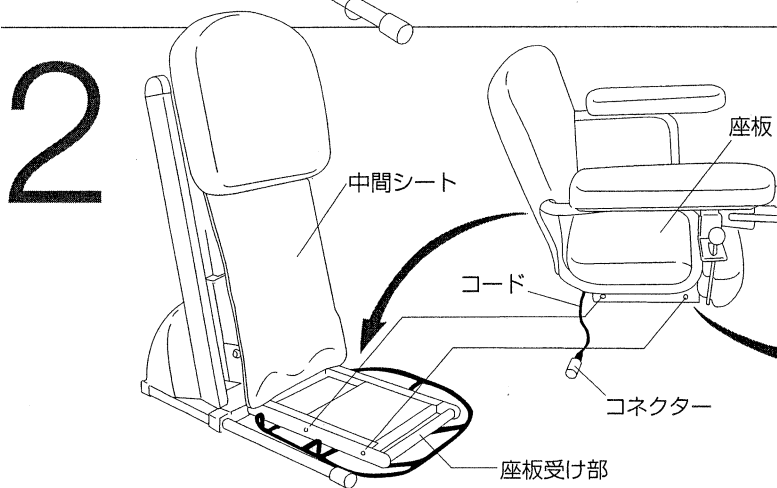
※数量の記載のないものは全て1個です。

## 組立手順



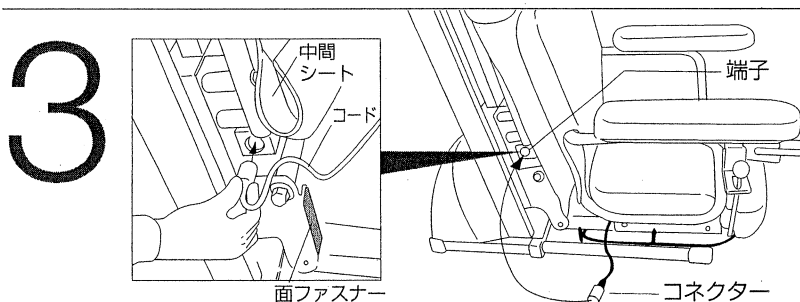
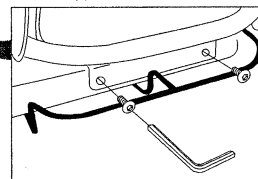
### 脚を取り付け、座板受け部を倒す

- ①本体下部に脚をさし込み (2カ所)、右方向に止まるまで回して固定します。
- ②はね上げられた状態の座板受け部を、水平に倒します。  
※このとき、安全バーを持たないでください。バーが変形し、はさまれ防止の安全機構が動かなくなることがあり、けがをするおそれがあります。



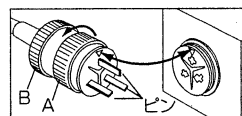
### 座板を取り付ける

- 座板を座板受け部の上に置き、左右2カ所ずつの穴の位置を合わせます。  
※このとき、座板と座板受け部との間にコネクタやコードをはさまないでください。コネクタ部が破損するおそれがあります。
- 六角穴付きボタンボルトを付属の六角棒スパナでしっかりと締めつけます。

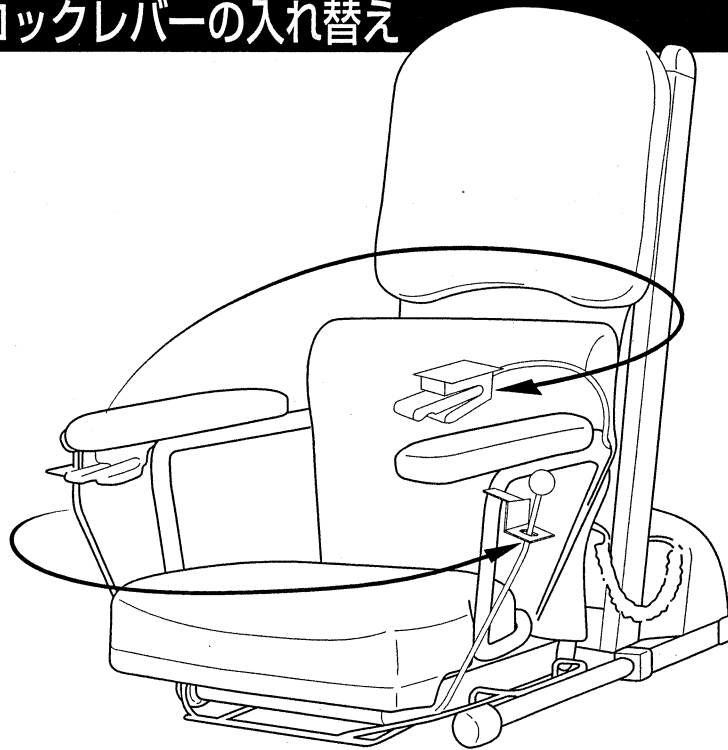


### コネクタを接続する

- 座部のうしろから出ているコネクタを、本体右よこの端子につなぎます。  
▽印の位置を合わせてピンを差し込み、Aを時計回りに回して、しっかりと固定します。  
Bは絶対に回さないでください。ピンが破損するおそれがあります。
- 接続後は、中間シートをはがして外に飛び出しているコードを中に入れます。中間シートを元に戻し、面ファスナーどうしを貼り合わせてください。

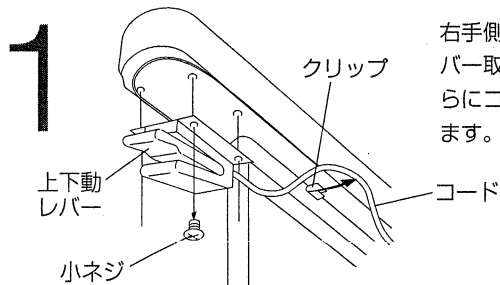


# 上下動レバーとロックレバーの入れ替え

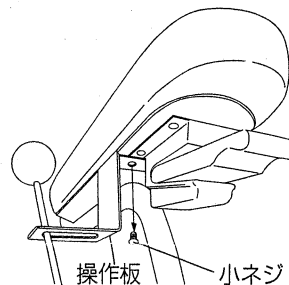


## 上下動レバー

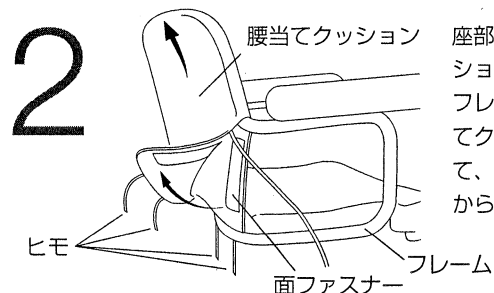
## ロックレバー



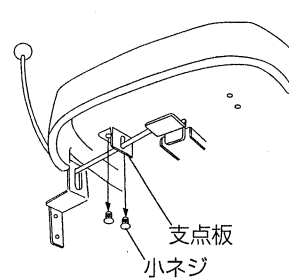
1 右手側肘掛けうらの、上下動レバー取付小ネジ4本を外し、さらにコードをクリップから外します。



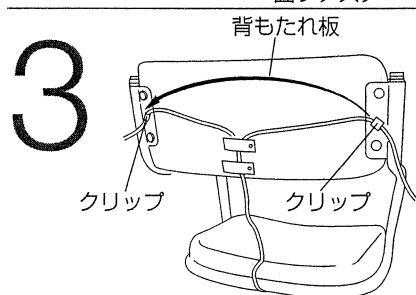
右手側肘掛けうらの、ロックレバー操作板取付小ネジ2本を外します。



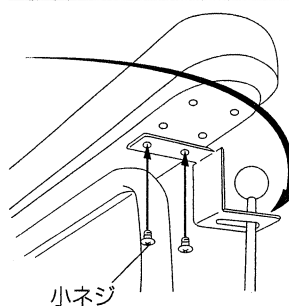
2 座部を回転させて、腰当てクッションをうしろから外します。フレームごしに結んである腰当てクッションのヒモをほどいて、面ファスナーをはがし、上から引き抜いてください。



座板うら右側の、支点板取付小ネジ2本を外します。



3 コードを、背もたれ板の右側のクリップから外し、左側のクリップに付け替えます。



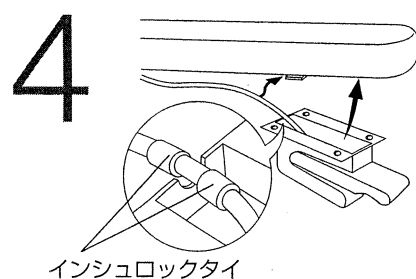
ロックレバーを左手側肘掛けにまわし、操作板を肘掛けうらの最後列の穴に小ネジ2本で仮止めします。

座板うら左側の位置に支点板を小ネジ2本で取り付けます。

※操作板が仮止めの状態です。ロックレバーの操作やロックレバーに無理な負荷をあたえないでください。

座板うら中央にある中心ピンが破損するおそれがあります。最後に、仮止めていた操作板の小ネジを本締めします。

このとき、ロックレバーが操作板の長穴の外側に接触し、左右に若干のガタつきができるように調整して小ネジを本締めしてください。



4 腰当てクッションをもどし、元とは逆の順序で左手側肘掛けに取り付けます。このとき、上下動レバーうしろの切り込みが、インシュロックタイの間に入るようにします。

